

大地震が発生したらまず自分の身を守る
揺れが収まったら真っ先に火の始末で火災防止

2014年11月24日発行
柳谷戸支隊 情報・広報

朝夕はかなり冷え込む季節となり、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。

1. 防災隊の活動について

柳谷戸支隊では6月、9月に活動隊員による防災訓練を、また10月には本部主催による全隊員を対象とした防災訓練を実施しました。6月と10月には「無事です」の旗出し訓練も行いました。多くの隊員の方々が参加して、いろいろな体験をされました。訓練を重ねることで、イザという時の対応力、応用力を養う事が出来ます。

今後も定期的に防災訓練を開催していきますので一人でも多くの方の参加をお願いします。

また組織面では自主防災隊の非常時における活動について明確にすべき重要な前提事項やガイドライン（基本方針）など総合的に検討を行ってきましたが、まもなく纏め、結論が出される予定です。今後、柳谷戸支隊ではそれに沿った具体的な非常時のマニュアル（活動手順書）の作成となります。（以上現状報告です）

2. 自助の備えは進んでいますか？

大地震が発生するとその瞬間に「支隊だより6号」で記した様な被害が想定されます。その瞬間を切り抜け、わが身を守るには平素の備え（自助）が最も重要です。災害時は自助→近助→共助と助け合いの輪が移っていきますがその基本はやはり自助です。是非「あなたと家族の安全ノート」2014年度版をご活用頂き自助の備えをお勧めします。

※阪神淡路大震災の被災者が19年を経ての眩き・・・（人と防災未来センターHPより）
「阪神淡路大震災では大都市の災害を思い知らされた。しかし、そんな記憶も月日とともに薄らいでいくのが人間の都合よく出来たところでしょうか？ 災害は決して済んだ事でもないし、またいつ襲うか分からない、忘れることなく頑張り災害に備えなければ・・・。災害は、個人と社会の両方を襲います、個人と社会の区別も、生活と仕事の狭間もありません。しかし、防災って段階では、価値観がまちまちで、それが後で差となって現れます。一人ひとりが、各家庭、各地域と備えを積み上げてこそ、被害を最小限に抑えられます」と・・・

3. 今、防災に関するアンケートを柳谷戸支隊の皆さんにお願いしています。

12月5日までに各自治会の班長様宅の郵便受けにご投函よろしくお願ひします。

4. 11月、12月活動予定

- ① 11月25日 支隊長・班長会議
- ② 11月29日 非常時体制検討チーム会議、給食・給水班専門会議
- ③ 11月29日 隊長・支隊長会議

以上